令和元年５月発行　第155号

にちなん

議会だより

田植えへGO!!

ＪＡ育苗センターの苗出し作業

おもな内容

初議会新体制の紹介	2
３月定例会	4
予算審査特別委員会	7
一般質問（４名）	10
新議員紹介	18
どっこい、この町に生きる	20

新しい議会体制で　住民の負託に応えます

一般選挙後の臨時会（初議会）が、5月10日に招集されました。
最年長議員である大西保議員が臨時議長を務め、議長選挙が行われ、無記名投票の結果、山本芳昭議員が8票を獲得し当選しました。
山本新議長により副議長選挙が行われ、坪倉勝幸議員が5票を獲得し当選しました。
続いて、各常任委員の選任、議会運営委員の選任などが行われ、新しい体制が決まりました。

山本　芳昭 議長

坪倉　勝幸 副議長

新議長あいさつ

第3回日南町議会臨時会におきまして、不肖私が日南町議会議長に就任することになりました。身に余る光栄と感激いたしますと共にその重責に身の引き締まる思いでございます。

この度の議長選挙から所信を表明することになり、「議会の3つの機能、監視機能・施策立案機能・民意吸収機能を果たす事」、「鳥取県西部地区特別職報酬審議会については退会も視野に入れた議論をする事」、「議員の災害時における活動指針を作成する事」など所信の一端を述べさせていただきました。開かれ信頼される議会となるよう取り組んでまいる覚悟でございます。

医療や福祉、少人数教育の充実。農林業の振興や課題の解決等々急激な人口減少、少子高齢化に起因する多くの課題がございますが、この課題解決のため積極的に取り組んでまいります。

どうか町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

令和元年５月10日に開かれた改選後初めての臨時会

日南町議会の新体制

総務教育常任委員会
委員長　荒木　博
副委員長　櫃田　洋一
委　員　大西　保
〃　古都　勝人
〃　岡本　健三
〃　坪倉　勝幸

経済福祉常任委員会
委員長　近藤　仁志
副委員長　岩﨑　昭男
委　員　大西　保
〃　古都　勝人
〃　荒木　博
〃　久代　安敏

議会広報常任委員会
委員長　櫃田　洋一
副委員長　岩﨑　昭男
委　員　岡本　健三
〃　近藤　仁志
〃　久代　安敏
〃　坪倉　勝幸

常任委員会とは
議会で取り扱う案件は多種多様化しています。これを専門的、能率的に審査・調査するために常任委員会を設けています。
日南町議会では3つの常任委員会があり、委員の数はそれぞれ6人で任期は2年です。なお、この度から議長はどの常任委員会にも所属しないこととなりました。

議会運営委員会
委員長　大西　保
副委員長　荒木　博
委　員　近藤　仁志
〃　櫃田　洋一
〃　坪倉　勝幸

議会運営委員会とは
議会を円滑に運営するために設けられ、会期や議案の取り扱いなどについて協議します。また、議会に関する条例や規則に関することなど議長の諮問的役割を持っています。委員の数は5人で任期は2年です。

西部広域行政管理組合議会
議　員　山本　芳昭

鳥取県後期高齢者医療広域連合議会
議　員　山本　芳昭

江府町日野町日南町衛生施設組合議会
議　員　大西　保
〃　荒木　博
〃　近藤　仁志

議決した議案

全議案を全員一致で承認・可決・同意しました。

○専決処分の承認
・日南町税条例等の一部改正
・日南町国民健康保険税条例の一部改正

○日南町介護保険条例の一部改正

○財産の取得
除雪ドーザ8トン級1台
契約相手方
コマツ山陰㈱米子支店
契約金額
11，340，000円
（消費税込み）

○教育委員会委員の任命同意
中村　秀代（三　吉）
（任期は令和元年5月14日から令和5年5月13日迄）

○農業委員会委員の任命同意
淺田　昭弥（神　福）
梅林　操（　霞　）
天崎　直幸（生　山）
内田　章久（下石見）
吉川　保（笠　木）
奥迫　静子（花　口）
岩田　正（阿毘縁）
絹谷　澄雄（新　屋）
加藤　幸児（折　渡）
稲田　洋子（笠　木）
（任期はいずれも令和元年5月19日から令和4年5月18日迄）

○監査委員の選任同意（議員選出）
岩﨑　昭男
（任期は令和元年5月10日から令和5年4月29日迄）

3月定例会
3月1日～3月22日（22日間）

小中学校通学無償化など　平成31年度予算を可決

日南町議会の3月定例会は、3月1日から22日までの22日間の会期で開かれました。中村町長の平成31年度施政方針説明を受けて、4人の議員が一般質問を行いました。執行部から提案された平成30年度補正予算、平成31年度の一般会計など各会計の当初予算および条例改正案は、原案通り可決しました。

予算審査は、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」（委員長・山本芳昭）を設置し、担当課から詳しく説明を受け、住民にとってよりよい予算となるよう審議を深めました。

中村町長1期目の31年度予算は、故増原町政を継承し「次世代につなげるまちづくり」を基本理念とした予算となりました。小学校統合以来懸案だった通学バスの無償化が実現します。また、働き盛りの健康づくりのための健診の充実やセミナーも計画され、胃がん検診の胃内視鏡検査が日南病院で受けられるようになりました。

副町長の選任

地方自治法の規定により副町長の選任の同意について投票が行われ、丸山悟氏が選任されました。

任期は平成31年4月1日から令和5年3月31日迄。

丸山　悟 副町長

教育長の任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育長の任命の同意について投票が行われ、伊田典穂氏が任命されました。

任期は平成31年4月2日から令和3年3月31日迄。

伊田　典穂 教育長

平成31年度　会計別当初予算額

会　計	金　額	対前年度比
一　般　会　計	78億8,823万1千円	14億7,926万8千円
国民健康保険特別会計	6億2,179万8千円	△6,918万2千円
介護保険特別会計	9億6,468万5千円	△5,841万1千円
介護サービス事業特別会計	1億251万円	1,088万5千円
後期高齢者医療特別会計	1億352万8千円	611万1千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	1,200万2千円	△2,770万円
簡易水道事業会計	2億775万3千円	△6,592万7千円
下水道事業会計	2億7,678万1千円	6,703万4千円
病院事業会計	12億9,375万3千円	5,257万5千円
合　計	114億7,104万1千円	13億9,465万3千円

議決したおもなもの

権利の放棄

■水道料金債権　32万4千円
■町営住宅使用料債権　3万5千405円
■介護サービス利用料債権　56万5千299円

公の施設の指定管理

■日南町総合文化センター（株）アシスト日南
■日南町立林業アカデミー（一財）日南町産業振興センター
■イチイ荘及び山村広場施設キュービック　代表　矢田貝ひろみ

条例の制定

■日南町簡易水道事業の設置等に関する条例
■日南町下水道事業の設置等に関する条例
■日南町森林整備基金条例
■日南町Jークレジット運用基金条例

平成３１年度　おもな新規事業

町職員の健康増進プログラム
120万円

がん検診事業
（胃内視鏡検査）
319万円

木材団地土地造成工事
6億699万2千円

CATV施設FTTH化工事
日南町関連施設光化工事
8億3,392万5千円

外国人技能実習生受入支援事業補助金
235万8千円

林業アカデミー運営委託料
3,533万6千円

もっとくわしく 質疑応答

ふるさと納税制度

ふるさと納税の拡大（目標一億円）と返礼品の充実

問 ふるさと納税のお礼品が520万円の予算だが、30年度の見込みは。

答 30年度は2月末で730万円。31年度1，000万円を予定。

問 総務省は返礼3割とあるが、今後の見通しは。

答 寄付の3割を返礼品としているが、報償費として送料等も含まれる。

問 30年度の返礼品の経費はいくらか。

答 報償費として300万円程度。

問 返礼品のラインアップとして、未来グローバルファームが日南町に来られるが、牛肉の製品はできないか。

答 牛肉の扱いは、一頭買いが必要で、現実的に無理がある。

問 一億円を突破するための姿勢が欠けている。単品の魅力ある返礼品が必要では。

答 目標に向かう姿勢が重要で、返礼品を強化する体制づくりに取り組む。

問 目標を目指す上で、経費をどのように活用されPRするのか。

答 ポータルサイトを増やして、日南町の返礼品のPRに努めたい。また、日南町には豚・牛・鳥があるので積極的に働きかけ充実を図りたい。

1，000万円の中の300万円が返礼品になり、地域内経済循環が発生し、地域産品として売れている。

問 返礼品ありきの寄付はおかしい。実態を具体的に。

答 現在、300件程度で、93％以上が県外者。リピーターが12％程度おられる。

職員健康福利厚生

ライザップによる健康増進プログラムを実施

問 健康プログラムでは100万円、新規事業説明資料では120万円になっている。20万円の差は。

答 講師の旅費が20万円で合せて120万円の事業。

問 職員20名の選定方法は。

答 基本的に手上げ方式。

問 手上げ方式は、問題のない人が集まる可能性があるが。

答 ターゲットは絞る。健康診断は100％達成している。29年度は職員161人の受診中、精密検査を受ける人が約4割発生している。

問 住民は全体で20万円、職員には100万円の予算だが、何を見た予算か。

答 住民には健康診断のおりにプログラムを提供。職員用は町内事業の働き盛りのモデル的事業として初年度は役場が取り組む。

問 たばこを吸うのを止めてから、実施しては。

答 健康診断結果を元に今後は対応して行きたい。

問 従来から行われているウォーキングなどではいけないか。

答 いろんな選択肢があるが、やろうとする動機付けが必要。

問 全額公費負担はいかがなものか。各事業所へのモデルというが、費用的に現実的でない。また、福祉保健課の健康づくりとリンクが必要では。

答 個人負担もある。各事業所への展開は、町補助金も検討できる。また、保健師や若手職員との合同提案である。福祉保健課と連携を想定してる。

文化センター管理

部品製造中止に伴い、エレベーターを更新

問 エレベーター改修工事3，500万円について、製造年月日と製造中止部品は何か。

答 平成8年4月に設置。22年経過。メーカーの部品停止が2020年12月。部品は不明。

問 使用頻度から考えて摩耗は少ないと思う。

答 今回、箱ごと機械全体を入れ替える。

問 メーカーは部品を持つはず。もう一度確認すべき。

答 油圧式は販売中止のため、ロープ式に切り替える。生産中止から20年以上経っているため、部品の供給が出来なくなる。

問 同タイプの油圧式をどの位変更されているか。

答 現在、全国で9，000台稼働。メーカーは部品供給停止を使用者と協議中。利用者の少ない12月から工事開始予定。

更新されるエレベーター

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、平成31年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長　山本芳昭）を設置して、平成31年3月5日、6日、7日、8日、11日、13日、19日に委員会を開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。

その結果、いずれの予算も次の意見を付して原案を可決すべきであると決定しました。

審査意見

【一般会計】

職員向け健康プログラムと町民対象の実践型健康セミナー

なぜライザップなのか

これまでの健康増進事業等の取り組みを踏まえて、委託先やプログラムを再検討すべき。町職員と同様のプログラムを一般町民の健診受診者にも実施されたい。健康増進を進めるうえで、庁舎敷地内の全面禁煙も検討せよ。

行政改革

施策の体系図を活用せよ

2020年からの5か年計画の策定にあたり、事務事業評価のみならず施策の体系図を作成し、効率的な行財政運営につなげよ。

情報発信

情報更新の体制整備を

ホームページの再構成が検討されるが、フェイスブック、ちゃんねる日南、防災行政無線及び広報にちなんでの連携した情報発信や、迅速な情報更新のために体制の整備も検討せよ。

公共交通確保対策

交通空白地帯の解消を

コンパクトビレッジ構想の充実のためにも公共交通総合計画(概要版)の本計画策定と交通空白地帯の解消実現に取り組まれたい。

観光振興

法人化を活かす指導を

法人化される観光協会が、独自の戦略により観光事業を展開するとともに、法人化のメリットが出るような運営となるよう指導せよ。

環境審議会

定期的に開催せよ

環境審議会が平成30年度一回も開催されていない。日南町環境施策の計画達成や取り組み状況を審議する重要な諮問機関である。定期的に開催すべき。

原木価格安定対策

事業の見直しを

原木価格は比較的高値水準にあるが、株式会社オロチの経営は安定してきている。将来の事業計画等を見据えて原木価格安定対策事業の在り方を検討されたい。

かすみ荘居住部門

代替施設の確保を

かすみ荘は居住部門のみが残ることになるが、施設や安全の管理に課題がある。冬期間の入居時期までに代替施設を確保せよ。

老朽化したかすみ荘

中学校施設営繕改良

早急な改修を

校舎トイレは2階3階だけではなく1階も、また、中学校体育館のトイレも早急に改修すべき。

総合文化センターエレベーター改修工事

維持費軽減にむけて

部品生産中止に伴い改修工事が必要となった。安全確保のためにはやむを得ないが、事業費の低減や将来の維持費等を十分考慮されたい。

【日南病院事業会計】

抜本的な経営改革を

平成30年度63，160千円に続き平成31年度も62，624千円を地域医療総合確保基金から繰り入れる。

地域医療の核となる日南病院は、医療の充実とともに健全経営を求められる。町民の意見を取り入れるとともに経営診断を受けるなど抜本的な経営改革に取り組まれたい。

平成31年度当初予算　一般会計・特別会計予算　討論

一般会計

反対　久代議員

同和地区の指定は法的には失効している。特別な地域を指定して活動費を助成するのではなく、広く人権教育に取り組むべきである。

また、シアトル派遣については、義務教育の過程では、どの子も対象になるように修学旅行のあり方も含めて再検討すべき。子育て支援策として学校給食の無償化にも取り組むべきである。

賛成　坪倉議員

活力あるまちづくり、安心安全なまちづくりのための予算となっている。

人権施策については、同和対策措置法がなくなっても日南町の実態に合わせて独自に取り組むことは必要である。

また、31年度から小中学校通学費の無償化が進められ、子育て支援が一歩前進する。給食費についても検討する旨の答弁があった。

予算審査の過程での意見を踏まえて執行に当たっていただきたい。

小・中学生の通学

賛成　大西議員

町長は任期中、特別なことがない限り保険料を含む公共料金を据え置くと表明された。日南町に相応しい税体系になっている。

介護サービス事業特別会計

反対　久代議員

あかねの郷は公設民営で建設されたが、日南福祉会に使用料として、起債償還部分の負担を求めており、平成48年までに約5億円の負担を求める計算である。介護職員の処遇改善や福利厚生を積極的に進めていくためにも、負担のあり方を見直すべきである。それが福祉会の経営改善にもつながる。

賛成　足羽議員

日南福祉会からの使用料は、平成29年度は免除、平成30年度も決算見込みが赤字のため免除する予定である。

平成31年度は、新たに中山間地域介護サービス確保対策事業として1千万円の予算を計上している。

後期高齢者医療特別会計

反対　久代議員

保険料の大幅な値上げと被保険者の窓口負担を1割から2割に増やすことが検討されている。これ以上の負担増をすべきでない。もとの老人医療保険に戻すべき。

賛成　近藤議員

窓口負担を増やすことが検討されているが、この事を懸念することが制度の良否を問うものではない。

日本の実情に照らし、誰でも安心して医療を受けることができる、国民皆保険制度を堅持していくためには必要な制度である。

国民健康保険特別会計

反対　久代議員

所得の割には保険料が高すぎる。県内でも5番目に高い。基金を取り崩して保険料の引き下げに当てるべき。あわせて国の財政支援を求めていくべきである。

○平成31年度当初予算の賛否内訳（賛否の分かれたもの）

件名	結果	（欠員）	山本芳昭	坪倉勝幸	荒木博	近藤仁志	恵比奈礼子	久代安敏	大西保	足羽覚	古都勝人	福田稔	村上正広
一般会計予算	可決	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
国民健康保険特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
介護サービス事業特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－
後期高齢者医療特別会計予算	可決	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

３月定例会審議結果

○可決・同意した議案

平成30年度補正予算	一般会計補正予算（第10号）	その他	権利の放棄について（水道料金債権）
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		権利の放棄について（町営住宅使用料債権）
	簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）		権利の放棄について（介護サービス利用料債権）
	農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）		鳥取県西部町村就学支援協議会規約を変更する協議について
	介護保険特別会計補正予算（第3号）		公の施設に係る指定管理者の指定について(日南町総合文化センター)
	介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）		公の施設に係る指定管理者の指定について(日南町立林業アカデミー)
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		公の施設に係る指定管理者の指定について（日南町農林業担い手研修施設イチイ荘及び日南町山村広場）
	病院事業会計補正予算（第3号）		副町長の選任につき同意を求めることについて
	一般会計補正予算（第11号）		教育長の任命につき同意を求めることについて
条例の制定	日南町簡易水道事業の設置等に関する条例	平成31年度当初予算	一般会計予算
	日南町下水道事業の設置等に関する条例		国民健康保険特別会計予算
	日南町森林整備基金条例		介護保険特別会計予算
	日南町Ｊ－クレジット運用基金条例		介護サービス事業特別会計予算
条例の廃止	日南町簡易水道基金条例		後期高齢者医療特別会計予算
	日南町集落排水事業推進基金条例		再生可能エネルギー発電事業特別会計予算
条例の一部変更	日南町過疎地域自立促進計画		簡易水道事業会計予算
条例の一部改正	日南町特別会計条例		下水道事業会計予算
	日南町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例等		病院事業会計予算
	日南町課設置条例	陳情（審査結果は14ページをご覧下さい。）	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情
	日南町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例		後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める陳情書
	日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例		教職員の長時間過密労働の解消を求める陳情
	日南町手数料条例		2019年10月からの消費税増税を中止することを求める陳情書
	日南町地域振興センターの設置及び管理に関する条例	発議	日南町議会委員会条例の一部改正について
	日南町文化財保護条例		日南町議会傍聴規則の一部改正について
	日南町一般廃棄物処理施設技術管理者の資格を定める条例等		議会の権限に属する事項中町長において専決処分すべき事項の件の一部改正について
	公益法人への日南町職員の派遣等に関する条例		

……賛否の分かれたもの

一般質問 問と答

問 検診受診率８０％を目指す 算定基礎数値は

答 がん検診受診率は ２０１８年度４６％である

大西　保 議員

問 健康なまちづくりの取り組み

施政方針で「3年後に検診受診率80％を目指す」との目標値を設定されました。目標数値の算定基礎は。

答 中村町長

40～69歳を対象とした受診率を評価指標とする。

がん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診）受診率の平均は、2018年度46％である。

目標数値は、2019年度60％、2020年度70％、2021年度80％とする。

待機するがん検診車

問 取り組みのフォローは

目標数値達成に向けた取り組みのフォローをどのようにするのか。

答 町長

1、ケーブルテレビ、広報、健康教室等で啓発する。

2、受診券送付を継続、個別受診勧奨を強化する。

3、県の受診勧奨事業を活用する。

4、検診自己負担金無料を継続する。

5、胃がん検診の医療機関委託を拡大（日南病院で胃内視鏡検診を開始）する。

6、セット検診（集団検診）、休日検診を継続する。

問 モンゴルへ消防自動車を送る件は

昨年5月の視察時に、前増原町長とゾーンモド町長との口約束された2件で、一つは日本語学級に日本語辞書等を昨年9月に送られた。

もう一つの消防自動車を送る件は、どのようにされるのか。

答 町長

ゾーンモド町は、日南町が輸送費を含めて消防自動車の寄贈をしてくれるのであれば受け入れたいとの意向を確認している。

町としては、交流の礎として寄贈に向けた準備を進めているが、贈呈式をどうするかなど詳細についてゾーンモド町の意向を確認しているところです。

問 セントラルファーム農場の排水問題

昨年11月に前町長が急逝され、又12月には上原社長が亡くなられました。今後排水問題についてどのように対応するのか。

答 町長

水質検査は継続実施し、地元とデータを共有するとともに、町は事業者と定期的に情報交換を行う。又、意見交換会で情報交換を行う。

問 老朽化危険家屋の取り組み状況は

建築物の老朽度・危険度判定基準のDランク「倒壊の危険性があり、解体などの緊急度が高い」判定基準点150点以上の建築物、現在何件あるのか。

答 町長

38件ある。

問 今後の取り組みは

通学路に面した危険家屋がある。町民や自治会から数年前から安全対策の要望があるが、今後どのように取り組むのか。

答 町長

あき家対策協議会もしっかりと現場を確認して頂き、今後の対応を前向きに進めて行きたい。

問 多面的機能支払い 広域化のメリットは

答 みなし的交付金の増額

近藤仁志 議員

問 多面的機能支払いの広域化

多面的機能支払い制度の組織広域化が推進されているが、現在の進捗状況とメリットは。

答 中村町長

37組織中20組織が広域化に賛同。3月12日に、1回目となる組織代表者の会議を行う。今までの交付金を担保し、37組織全て参加で1，800万円。現在の20組織で556万円のみなし的交付金の増となる見込みである。

問 今後の農業施策は

既存の集落営農組織も高齢化、後継者不足が深刻で離農農地の受け手不足が顕著である。10年先を見据えた農業施策、農地維持に向けた見解は。

答 町長

人・農地プランの実質化と農地中間管理事業による担い手への農地集積と集約化の推進を図るとともに、新規就農者の支援システムを確立する。

問 地域おこし協力隊を集落営農維持活動に活用できないか

答 町長

準備は必要だが、都会の人で一次産業に興味を持つ人が多くなっている傾向があるので、一つのチャンスと認識している。

問 観光行政の取り組みは

観光協会が一般社団法人化されたが、その意義と体制は。

答 町長

法人格が備わり、協会自身による財産取得が可能になったこと、責任の所在が明らかになることで信用が増し、活動の幅が格段に広がる。事務局は協会職員3名と町職員1名があたる。

木下家での「ジャズとジビエの会」

問 旧木下家の活用は

単発的なイベント開催でなく、将来を見据えた活用内容は具体的に検討されているか。町民の参画を求められる考えは。

答 町長

古民家の魅力を活かしたイベント・宿泊・飲食施設等としての利用を検証するため様々なモニター企画に取り組んでいる。

企画にはスタッフ・参加者として町民の方々に参画いただいているが、今後は企画段階から参画いただけるよう連携を図りたい。

問 結婚対策

仲人奨励制度を復活され、その目的は結婚を促進し、定住促進と少子化の解消とあるが、交付対象者は日南町に住所を有する者に限定されている。目的達成のためには町外の方でも良いのでは。

答 町長

本制度の目的は、人口の増加を第一義としている。運用していく中で町外の方にも広く仲を取り持って欲しいと判断した場合は見直しも考えるが、日南町民として牽引して頂きたく、当面は町民限定で行う。

問 公共交通・おでかけタクシー助成の運用状況は

タクシーチケット利用は、中心地域と周辺地域との一乗車当たり使用枚数の差が顕著である、その対応は。

答 町長

タクシーチケット事業を含む公共交通の見直しについて関係機関や町公共交通確保対策協議会での協議を継続し、見直しも含めて検討していく。

一般質問 問と答

問 小中学生の学校給食無償化を

答 引き続き慎重な議論を行う

久代安敏 議員

問 学校給食費の無償化

全国の公立小中学校で学校給食無償化を実施している自治体が漸増する傾向にある。義務教育課程の給食は教育の一環である。

鳥取県内でも伯耆町や大山町など一部補助を実施している自治体があり、財源は約1，100万あれば可能だ。子育て支援の充実のために、日南町でも無償化の実現を求める。

答 丸山教育長

学校給食センターでの調理

給食費の無償化や一部助成については、様々な観点から協議し、引き続き議論を行っていきたい。

問 中学生にも自転車通学を

本年企画課がサイクリングイベントを実施する予定であるが、日南中学校も自転車通学を許可してはどうか。

答 教育長

日南中学校で自転車通学を指定することは難しい。安全な通学方法を協議していく。

問 国民健康保険税

被保険者1人当たりの国民健康保険税は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1.3倍で高すぎる。国の財政投入により国保税を協会けんぽの保険料並みに引き下げることを求める。

答 中村町長

本町の特色は応益分の均等割や平等割を抑えており、所得での変動が少ない税体系としている。

県内の保険税統一に向けた議論とともに検討が必要。

問 消費税10％増税について

10月から消費税が10％に増税されるが、水道料金・下水道料金の据え置きを表明されたことは評価する。増税にともなう公共施設の利用料金などはどう対応するのか。また。増税による町の実質負担増はどうなるか。

答 町長

住民負担軽減の観点から公共施設の利用料金についても据え置きとする。

平成31年度予算における実質負担増は48，600千円程度と捉えている。

問 日南福祉会の経営と起債償還負担

日南福祉会は、あかねの郷建設費などの起債償還に係る負担を、赤字決算のため次年度以降に繰り延べしている。日南福祉会の負担総額は約7億5千万円であり経営圧迫の要因となっており、根本的に見直すべきだ。

答 町長

日南福祉会には、施設使用料相当額として起債償還額の負担を求めているが、近年は運営状況が厳しく、負担を求めない判断が続いている。今後も、運営状況に照らして協議したい。

問 介護サービス確保対策事業

今年度から新たに町単独で中山間地域介護サービス確保対策事業が創設され事業者に介護報酬基本単位の20％を助成し、1千万円の予算が計上された。また訪問系サービスの自己負担分を利用者にも助成する。

鳥取県として制度を確立するようにぜひ要求を上げられたい。

答 町長

鳥取県長寿社会課に制度についての情報提供をしている。新制度を運用したのちに県助成について協議したい。

問 身の丈にあった予算規模を

答 創造的過疎と予算規模の適性化が重要

村上正広 議員

問 財源確保対策は

2020年に国勢調査が実施され地方交付税に著しい変更がありはしないのか。

答 中村町長

2020年国勢調査による人口が地方交付税に算定されるのは、2021年度交付税からとなる。人口減少による減額は避けられないが、日本全体の人口も減少傾向にあるため、一定の額は確保が出来るものと想定している。今後もより緩やかな人口減少（創造的過疎）の取組と併せて予算規模の適正化が重要となる。

問 ふるさと納税のあり方は

施政方針では3年で10倍の1億円を目標に掲げられたが具体策は。

答 町長

より多くの寄付者に日南町を選んでいただくことが重要。そのためインターネット等を活用し積極的に日南町のPRに努め、魅力的な返礼品の開発及び数量確保に向けた取組を進める。

問 町有林のあり方

資産としてのあり方。分収造林のあり方、山林の寄付採納の取り扱い方法はどうされるのか。

答 町長

第2期町有林経営計画に基づき、健全な管理に努める。分収造林については、地権者と協議のうえ、山林の寄附採納については、寄附採納事務取扱基準及び山林寄附採納の手引きに基づき対処する。

問 2040年対策は

本町の人口構成は60代80代70代と続く。高齢化率50・5％を超え自然減は年間100人程度。対応策は。

答 町長

コンパクトビレッジ構想の下、緩やかな人口減を目指すとともに、施政方針で示した「しごと・まち・ひと」の3つを町政運営の柱として取り組みたい。

問 政府勧奨による合併の可能性は

中心市構想が新聞紙上で報道されているが、消滅自治体の候補にある日野郡3町の行く末は、政府勧奨による合併に進む可能性がありはしないのか。

答 町長

国は平成の大合併以降、基礎自治体はそのままに、中心市と周辺市町村が事務事業を連携調整する「定住自立圏構想」などの広域行政を推進している。政府勧奨による合併の可能性は今のところ不透明であるが、今後国の動きを見ながら広域的枠組みでの事業連携を図って行きたい。

問 国保病院のあり方

西部地区3病院（西伯、日野、日南）の持続可能なあり方を模索することが急がれる。取り組み方法は。

答 町長

日南病院の規模を縮小せざるを得ないが、今後も入院ベッドを使って地域医療を継続する。病院連携・再編統合について県議会で議論があるが、今後の検討課題である。

問 日野高校のあり方

郡内の生徒の進学が10～15人程度である。今後の取り組み具体策は。

答 町長

今後、日野高校魅力向上推進協議会で検討しながら進めていく。

陳情の審査結果・討論

提出のあった陳情は、３月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。
なお、賛成・反対とあるのは、陳情原案に対する討論です。

平成30年陳情第40号	提　出　者	審　査　意　見	採決結果
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとっとりの会 共同代表　石田　正義 ほか２名	沖縄県民の意志を尊重すべきではあるが、普天間基地の危険性を排除することが最優先課題である。	趣旨採択
賛成　久代議員 住民投票の結果72%が辺野古の埋め立てに反対。沖縄県民の意志を尊重すべき。 （坪倉、近藤、惠比奈、久代）		反対　荒木議員 民意の埋め立て反対は尊重したいが、世界一危険な普天間基地の排除が優先。 （山本、荒木、大西、足羽、古都、福田）	

平成31年陳情第１号	提　出　者	審　査　意　見	採決結果
後期高齢者の医療費窓口負担の「原則１割」の継続を求める陳情書	鳥取県社会保障推進協議会 会長　藤田　安一	医療費が増加する中で世代間の公平性や制度の持続性確保の観点から、２割の窓口負担割合について審議することは妥当である。	不採択
賛成　久代議員 各審議会で医療費の引上げに反対意見が出ている。負担を求めるべきでない。 （近藤、惠比奈、久代）		反対　荒木議員 この制度を安定継続させる為には、財源確保が必要。次世代に借金はいけない。 （山本、坪倉、荒木、大西、足羽、古都、福田）	

平成31年陳情第２号	提　出　者	審　査　意　見	採決結果
教職員の長時間過密労働の解消を求める陳情	鳥取県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長　市谷　尚三	教職員がゆとりをもって教育活動を行うための改善をすべきである。	採　択
賛成　久代議員 文科省が2016年の調査に基づいた陳情。変形労働制は、その場凌ぎの対応だ。 （坪倉、荒木、近藤、惠比奈、久代、足羽）		反対　古都議員 中教審議会の答申は総枠的で、議論が尽くされてない。再度、陳情者に調査を。 （山本、大西、古都、福田）	

平成31年陳情第３号	提　出　者	審　査　意　見	採決結果
2019年10月からの消費税増税を中止することを求める陳情書	鳥取県西部地区消費税廃止各界連絡会 代表　滝根　崇	社会保険料など現役世代に年々負担が増加しており、財源確保のためには国民全体に負担を求める消費税増税はやむを得ない。	不採択
賛成　久代議員 消費税は社会保障に回ってない。景気が上向いた実感がない。増税は反対。 （久代）		反対　近藤議員 社会保障の担保、子育て支援で必要。国の弱者を救って行く為に増税は必要。 （山本、坪倉、荒木、近藤、惠比奈、大西、足羽、古都、福田）	

３月定例会で下記の意見書を採択し、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました
（要旨掲載）

教職員の長時間過密労働の解消にむけた意見書

１．教職員の長時間過密労働の解消を行うため、国の責任で教職員定数の根本的な改善を行うこと。
２．１年単位の変形労働時間制を学校現場に持ち込まないこと。

総務教育常任委員会

－2月1日－

議会報告会・意見交換会にかかる検討課題の整理を行った。

－3月14日－

4件の陳情審査を行った。
（陳情審査結果は14P参照）

－2月6日－

外国就労支援（企画課）

・町内事業所が、人材確保の一方策として技能実習生を受け入れる際の経費を日南町チャレンジ企業支援事業で補助する説明を受けた。補助率1/2（上限額を定める）

仲人報奨金及び同窓会開催支援補助金制度（企画課）

・**仲人報奨金**：本町の結婚を促進することにより、定住の推進と少子化の解消を図る。婚姻１組につき、10万円。
・**同窓会開催支援補助金**：若者の結婚に繋がる出会いの場の創出により、本町へUターンを促進し、人口の増加を図る。
年齢が25歳以上45歳以下で、一人につき2,000円補助。

公共交通に対するアンケートの進捗状況（企画課）

アンケート結果の傾向
・バスと鉄道の乗り換えに「不満」が高い。
・「デマンドバスの予約の不便さ」、「バスの仕組みの分かりやすさ」に不満。
（デマンドバス）
・「予約をするが待ち時間が長い」、「なかなか電話が繋がらない」に不満。
（タクシー）

今後の予定
・アンケート結果を踏まえ、利用者の利用時間に合う新ダイヤル、運行形態案を作成する。
・町営バスの仕組み自体が複雑化しているので、なるべく分かりやすい仕組みを計画し、使い方の説明を積極的に行う。

経済福祉常任委員会

－2月1日－

農業研修事業（農林課）

・日南町産業振興センターに業務委託。
・平成31年度の農林研修生として採用は、現在、応募者1名、応募見込み2名、2年目を迎える研修生2名の最大5名を受け入れる。
・研修生が地域おこし協力隊以外での採用（地元採用等）の場合、これまで交付されてきた県の補助金（市町村農業公社等就農研修支援事業）が交付対象外となる。

－3月14日－

木材団地の現地調査（建設課）

中心地域整備に関する調査特別委員会

－1月25日－

道の駅日野川の郷運営状況について（企画課）

・10月から直売所・レストランの売上が平成29年度に比べ伸びていると報告を受けた。

中心地貸付地について（企画課）

日南プレカット事業協同組合に賃貸している町有地について

・2021年3月までに賃貸契約を解消すること。
・JAと施設利用の協議を行うこと。
・町は建物の買い取りはしないこと。
以上を委員会として決定した。

－3月15日－

道の駅日野川の郷運営状況について（企画課）

4月～1月末までの状況

・直売所売上：55,738,590円
・レストラン：18,511,925円
・年間来場者数：92,145人（直売所）
30,236人（レストラン）
・ふるさと納税：2,637,161円

指定管理に支払う委託料の考え方

・運営委託料上限2000万円（1000万円固定費+売上率に応じ1000万円まで）、管理委託料500万円の予算。
・30年度の運営委託料は1500万円の見込み（固定費+売上率に応じたもの）

３月22日の本会議において、特別委員会委員長（山本芳昭）が報告をしました。

中心地域整備に関する調査特別委員会報告書

本委員会は平成27年6月26日に設置されてから、32回の委員会を開催し中心地域整備の在り方について鋭意調査を行ってきましたが、議員の任期満了により、特別委員会を閉じます。

第１回から第9回までは「道の駅にちなん日野川の郷」オープンに向けての準備について調査、第10回から第16回までは平成28年4月22日にオープンした「道の駅にちなん日野川の郷」の状況、また生山地区分譲住宅について調査、第17回からは引き続き「道の駅にちなん日野川の郷」の経営状況に加え日南町体育館建築について調査、第19回では島根県奥出雲町亀嵩小学校体育館・八川小学校屋内運動場の現地調査、第24回からは民間活用住宅整備等事業についても調査を開始、第29回からは日南プレカット事業協同組合（以下、「日南プレカット」）に賃貸している町有地についても調査を行いました。

尚、平成30年度からは「道の駅にちなん日野川の郷」は株式会社サクセスへ指定管理委託されたため、平成29年度までのように月毎の運営状況調査は行っていません。

「道の駅にちなん日野川の郷」は直売所売上が減少するなど当初の目的達成は困難な状況にあります。今後は指定管理者提案の「取り組み」が達成され賑わいのある道の駅となることを期待します。

生山分譲地は8区画の内なお4区画が募集中であり、町営住宅や民間活用住宅などを含めた政策の検討が必要であります。

日南プレカットに賃貸している町有地については、2021年3月までに町へ返還されるよう本委員会として決議しました。

中心地域整備は少子高齢化が急速に進む本町の将来に大きな役割を果たすものであり、日南プレカットに賃貸している町有地の利活用や健康増進施設など将来を見据えた整備計画が求められます。前増原町長が提唱されたコンパクトビレッジ構想と合わせ議会はもとより、全町民が参加した整備構想となるよう期待して、調査報告とします。

自治功労者表彰

平成31年2月6日、全国町村議会議長会より、町村議会議長として7年以上在職し功労のあった者として、村上正広議長が自治功労者表彰を受けました。

長きにわたり、地域振興及び住民福祉の向上に尽くされました。

議会広報コンクール

鳥取県議長会が開催した第26回鳥取県町村議会広報コンクールにおいて、最優秀写真賞として表彰を受けました。

今後も、町民の皆さんに読んでいただける広報紙を目指して、研修を重ねてまいります。

（議会広報常任委員会）

議会活動報告

（1月）

9日　議会広報常任委員会
11日　経済福祉常任委員会
12日　新春賀詞交歓会
16日　日南町消防出初式
17日　議会広報常任委員会
18日　例月出納検査

（2月）

1日　日南町体育館竣工式
6日　臨時会
13日　全員協議会
14日　議会広報常任委員会
19日　中心地域整備に関する調査特別委員会
20日　鳥取県町村議会女性議員懇談会
25日　例月出納検査
31日　議会運営委員会

（3月）

1日　3月定例会本会議
4日　3月定例会本会議
5日　全員協議会
6日　予算審査特別委員会
7日　議会運営委員会
8日　予算審査特別委員会
11日　予算審査特別委員会
12日　日南福祉会実践報告会
13日　日南中学校卒業証書授与式
14日　予算審査特別委員会
15日　3月定例会（一般質問）
18日　予算審査特別委員会
19日　予算審査特別委員会
21日　経済福祉常任委員会
22日　総務教育常任委員会
26日　日南小学校卒業証書授与式
28日　議会運営委員会

（4月）

5日　例月出納検査
9日　予算審査特別委員会
18日　3月定例会本会議
19日　全員協議会
22日　石見・にちなん保育園卒業式
26日　議会広報常任委員会
28日　福祉地域振興センター竣工式

（5月）

9日　議会広報常任委員会
18日　日南小学校入学式
日南中学校入学式

平成31年 行政視察受入状況

■4月10日
高知県大月町議会
空き家の活用による移住定住の取り組み

議員10人の紹介

この度の一般選挙により誕生した町議会議員の皆さんに今後の抱負などについて質問しました。
質問は①議員としての抱負②私の信条③趣味についての３項目です。
議席番号順に、氏名、年齢、当選回数も紹介します。

1番議席
大西　保
（67才・2回）

①町民の皆様のご意見・ご要望をしっかり受け止め、あらゆる難問・課題に対して、骨身を惜しまずその解決・改善に積極的に取り組みます。
②皆様に喜んでいただける議員活動を行います。
③スポーツ鑑賞、卓球、グラウンドゴルフ

3番議席
岡本　健三
（49才・1回）

①Iターン町民の一人として新たな視点に立ち、町民の皆様のお声によく耳を傾け皆様と力を合わせ、ときには県や国にも率直に意見を言い、子育て、教育、介護、医療、防災、農林業などの問題に一歩ずつ着実に取り組みます。
②地方自治体の本旨にもとづき、福祉とくらしを根本にすえ議員活動に励みます。
③ハイキング、ジョギング、読書、音楽鑑賞他

2番議席
古都　勝人
（67才・3回）

①日南町が誕生して60年がたち、日南町のまちづくりをされた皆様も高齢になられ、人口も減少し、少子化が進む中、今期４年間では、次の課題を中心に取り組みたいと考えています。高齢農家、小規模農家の更なる支援、雑木（広葉樹）もお金になる活動、人材不足を解消するための取り組み、そして未来を担う子供達の成長を支援する活動に力を入れて取り組みます。
②「念ずれば花開く」――目標を持って努力すれば、いつかは、実現出来る。
③映画鑑賞

4番議席
荒木　博
（62才・3回）

①少子高齢化に伴う人口の減少が大きな問題となっておりますが、町民の皆様が安心して暮らしていただけるよう交通や医療・福祉対策に取り組みます。また若者の婚活を支援し、定住と雇用の安定の推進に努めます。
②対立より対話によって物事を進めるべき
③自然観賞・黙想

5番議席
櫃田　洋一
（53才・1回）

①基本姿勢は、「見る」・「聞く」・「歩く」を中心にした活動を行いたいと思います。
②「百聞は一見に如かず」
・タカの目で風を読み
・トンボの目で複眼的に
・アリの目で隅々まで見る
③マラソン、音楽鑑賞

6番議席
岩﨑　昭男
（60才・1回）

①「まちの元気は地域から」をモットーに、地域の安心安全を支える地域コミュニティの強化、公共交通の利便性の向上、農林業の労働力の確保対策に取り組みます。また、解りやすい議会を目指し議会改革を推進します。
②「公平・誠実そして実行」を信条とし、議員活動を行います。
③渓流釣り、ソフトテニス

9番議席
坪倉　勝幸
（62才・9回）

①町民と町政の架け橋、町民の代弁者として、積極的に政策提案や行政のチェックを行います。特に農林業を中心とした産業の活性化に努力します。また、町民の負託に応える議会の議論の充実、活性化に努めます。
②いつでも、何事にもできる限りの努力を怠らない。
③スポーツ観戦

7番議席
近藤　仁志
（66才・2回）

①「今日の笑顔は明日への力」をモットーに生活不安の解消に取り組み、地域活力の維持と活性化に向け行動します。
人口減少問題対策の一環として、日南町の魅力を発掘・創造・発信に努めます。
②「評価は他人に委ねる」を信条に責任ある言動に心がける。
③農業・ゴルフ

10番議席
山本　芳昭
（59才・3回）

①安定的な町民サービス確保のため行財政改革に取り組み、少人数を生かした学校教育の実現に努めます。今後も医療・福祉の増進や農林業の課題解決に取り組むと共に町民の皆様の声を行政に届け実現するよう努めます。
②助け合い共に歩める町づくりに努めます。
③ユーチューブを観ること

8番議席
久代　安敏
（63才・6回）

①「住民こそ主人公」の立場をつらぬき、住民の福祉とくらし憲法９条で平和を守り、希望がもてる町づくりのために全力でがんばる決意です。みなさんの代表として行政をしっかりチェックし、政策提案をおこないます。
②個人の尊厳が大切にされる社会をめざします。
③TwitterやFacebookで情報発信・交流すること。

議会事務局職員の紹介

議会事務局長が変わりました

４月の人事異動により、新しい議会事務局長に花倉幸江職員が着任しました。

新しい事務局体制
花倉事務局長と鹿取書記

インタビューシリーズ

道 どっこい、この町に生きる 草

健康で笑顔の日々と、仕事は目標をもって

澤田武一郎（ぶいちろう）さん　珠美（たまみ）さん（中石見）

なぜ日南町で農業を

武一郎さん　岡山でコンピューターのデザイン関係の仕事をしていたけど、病気をしてそれがきっかけで、自分で何かしら仕事を始めないといけないと思った時、以前から農業（トマト栽培）には興味があって、真庭や高梁の市役所に問い合わせていたけど、日野郡のIターン交流会に誘ってもらい、日南町の制度を聞かされた。

後日、日南に行き話を聞いたら、日南が一番新規就農者のことを考えてくれていると感じて、4期生として応募に踏み切りました。

珠美さん　日南に来た頃は手伝う程度の気持ちで、農協から話もあって日南支所に3ヶ月、日野支所に1年勤務しましたが、主人の様子を見て一緒にやろうかなと思い、周囲の勧めもあり7期生として研修を受けました。

結婚されたいきさつは

武一郎さん　農業研修中これから農業をするのであれば、精神的にも体力的にも家族がいた方がいいなあと思い、前からの友人であった彼女にプロポーズしました。

珠美さん　実家は梨農家で、小さい時からしんどさは知っていたので、大人になったら農業からは離れたいと考えていたのに。人柄に惹かれたのかな。（笑）

研修生で来られて結婚された方は少ないですね。

二人にとって幸せとは

珠美さん　基本的には健康で笑って過ごせる毎日が有ったらと。あとチョット美味しいものを食べるだけでも幸せを感じます。

武一郎さん　仕事に関しては目標があって頑張れるし、それに近づいていったらその充実感を幸せと感じられることが出来るかなあ。

目標は今の規模で粗収入980万円、実現可能な数字なので何としても達成したい。

日南町の印象、要望は

武一郎さん　素晴らしい人に巡り合い、色々お世話になっている、口は悪いけどそこに愛情を感じる。

それと自分も妻も日南町の研修生制度を使って勉強させてもらい就農させてもらっている、何をして欲しいかじゃなくて、足らないのは自分、変わるべきは自分で、上手くいかない原因は自分にあることが殆んど、お世話になった分しっかり稼いで恩返ししたい。

珠美さん　周りの人がいい具合に関わってくれるので不満は感じません。

武一郎さん　妻の就農を契機に規模拡大して3年目になるけど、夫婦で出来る事は素晴らしいし、家族の為、この人の為ならと頑張れることも沢山あります。目標、信念を強く持って、しんどい事でも乗り越えていきます。

トマトの定植準備

編集後記

改選により委員会構成も新しくなりました。

今までは、季節感や地域の事など旬の話題で委員のセンスとこだわりを感じ、楽しみに読んでいました。

いざ、私の番になると筆がいっこうに進みません（最近はキーボードか・・）

普段からあらゆることに関心を持ち、気にかけておく必要性を痛感しています。

委員の得意分野を生かしたチームワークで、分かりやすく読んでみたくなるような議会広報づくりに努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

櫃田　記

議会広報常任委員会

委員長　櫃田　洋一
副委員長　岩﨑　昭男
委員　岡本　健三
〃　近藤　仁志
〃　久代　安敏
〃　坪倉　勝幸

ホームページ
http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/2/

発行／日南町議会　編集／議会広報常任委員会　印刷／冨士印刷(有)
〒689－5292　鳥取県日野郡日南町霞800
電話：(0859)82－1900　FAX：(0859)82－1131

議会および議会だよりについて、ご意見をおよせください。　メールアドレス／s0800@town.nichinan.lg.jp